

第 11 回 東京学芸大学 サークルちえのわ (第 30 号)

「サークルちえのわ」は、2002 年度から 2004 年度までの 3 年間、地域に向けて開講されていた東京学芸大学公開講座「ぬくい少年少女農学校」の学生スタッフを母体として、2004 年 12 月に同大学公認サークルとして発足し、2005 年度より本格的活動を開始しました。

2008 年度は、主な活動として、小中学生と年間を通して食農文化体験を行う「ちえのわ農学校」や、文京区の児童館における消費者教育出前講座を開いています。これらの活動の中で、ちえのわの学生は自然やさまざまな人との関わりから生まれる”知恵の環”を拡げ、一人ひとりの興味関心やスキルの向上を目指し活動しています。

〈ちえのわ農学校〉

2005 年度から、東京芸術大学に色彩園をフィールドに開催し、今年で 4 期目を迎えました。サークルのメンバーを中心に、他大学生・社会人・高校生とともに活動を運営しています。

ちえのわ農学校では、『種から胃袋まで』を活動目標に、『命を大切にする』という当たり前のことを見つめ直すきっかけづくりを目指し、子どもたちの興味・関心を大切に自然・食農文化体験活動を行っています。具体的には、毎月 1 回、子どもたちと野菜を育てて調理したり、鬼ごっこで走り回ったり、色彩園の木や竹を使って食器を作ったりと、一緒に楽しい時間を過ごしています。

その中で、知恵を与えるのではなく、活動中の子どもたちの気づきや疑問を大切に、物事を一緒に考えていきます。それは、子どもたちが自分で気づいたこと、疑問を持ち自分で考えたことが力になると考えているからです。活動目標である『種から胃袋まで』というのは、種から野菜を育てるということだけではなく、子どもの小さな気づき、疑問=種を大切にしていこうということでもあるのです。

〈環境教育出前講座の講師〉(文京区)

環境教育実践の一環として 2007 年度夏は環境教育、2008 年夏は消費者教育の出前講座を文京区の児童館で行いました。どちらの年も文京区消費生活センターからの依頼で、子どもたちの消費者意識を育てるプログラムの企画・運営を行いました。ちなみに 2008 年夏は、食品の安全性、環境負荷を配慮した消費者になることを目指す「目指せお買い物上手!」と題したお買い物ゲームを開催しました。

(代表 瀬崎昌彦)